

レジ袋 つつい つつい もらっていませんか?



年末年始が近づくこの時期、買い物に出掛ける機会も増えることでしょう。お店で商品を買ったときに入れてくれるレジ袋は、コンビニなどの少量の買い物で、“つつい” もらってしまいがちです。

レジ袋は全国で年間 300 億枚が消費されていると言われています。マイバック（買い物袋）の持参や「レジ袋いりません」のひと声が、ごみの減量につながります。

☎ごみ対策課（クリーンセンター内） ☎ 0538-37-4812 FAX 0538-36-9797

ページ番号 1001452

レジ袋削減に向けた協定

市では、いわた消費者協会と共に市内に店舗のある15社（33店舗）と「レジ袋削減に向けた取り組みに関する協定」を結び、レジ袋の削減に取り組んでいます。

主な内容は、ごみ減量・地球温暖化防止のためのレジ袋の有料化やポイント化、マイバック持参運動などを実施し、それぞれの立場からレジ袋削減を呼び掛けるものです。

協定参加企業の 市内店舗が参加しています

- 遠州中央農業協同組合
- (株)遠鉄ストア
- (株)J A 遠中サービス
- (株)タカラ・エムシー
- (株)とよおか採れたて元気むら
- (株)バロー
- (株)ベイシア
- マックスバリュ東海(株)
- ユニー(株)
- 竜洋環境創造(株)
- (株)浜松白洋舎
- (株)大光
- (株)クリエイトエス・ディー
- (株)食鮮館タイヨー
- (株)ビッグ富士

協定店での取り組みの効果

毎年度5月に協定店にご協力いただき、1カ月間レジ袋お断り率の調査を行っています。今年度の調査では約9割の方が買い物にマイバックやマイカゴを利用していました。

1年間の効果

レジ袋辞退率 **89.1%**
 レジ袋削減量 134ト
 レジ袋削減枚数 約 1,337 万枚
 ↓
 二酸化炭素削減量 267ト
 CO2

協定店のうち、ユニー(株)ピアゴ上岡田店、ユニー(株)アピタ磐田店、(株)遠鉄ストアからレジ袋の売上金の一部を寄付いただきました。いただいた寄付金は、ごみ減量・リサイクル意識啓発のための費用として活用させていただきます。

また、寄付金の一部でごみ処理の流れを紹介する動画を作成し、ホームページで公開しています。動画を収録したDVDは希望する自治会や団体などへ無料配布しています。ぜひご覧ください。



▲ YouTube 「磐田 TV」

店頭での呼び掛け

市では、ごみの排出抑制と二酸化炭素の排出削減を目的に、レジ袋削減プレートを市内小売店へ設置し、不要なレジ袋をもらわないよう呼び掛けを行っています。

このプレートはレジ袋削減に向けた取り組みに関する協定店や商店会連盟加盟店、市と包括協定を締結したセブンイレブン・ジャパンなど、市内172店舗に設置をしています。



店舗従業員さんの声

プレートはしっぺいのイラストで目に留まりやすいのか、声を掛けていただくことが多くなりました。
(アンケートより)

▲店舗に設置されているプレート

3R推進月間の取り組み

環境省は10月を「リデュース・リユース・リサイクル推進月間（略称…3R推進月間）」と定めています。

市では期間中に、いわた消費者協会協力のもとマイバッグ持参を呼び掛ける啓発活動をしています。今年も市内6店舗で買い物客へ啓発グッズを手渡しながらマイバッグの持参や食品ロス削減の呼び掛けを行いました。



国はプラスチック製レジ袋について、来年7月から原則全ての小売業者に有料化を義務付ける予定です。市内でもレジ袋の配布をやめたり、植物を原料とした袋に替えたりと、プラスチック製レジ袋削減の取り組みは広まっています。

一人ひとりがライフスタイルを見直し、環境にやさしい取り組みをできることから実践しましょう。

「3R(スリーアール)」ってなに？

市では「使い捨て社会」を見直し「循環型社会」の定着を図るため「3R」の取り組みを推進しています。

① **R**educe

発生抑制

- ・ **買い物はマイバックで**
- ・ 食材は使い切る、食べ残さない
- ・ 簡易包装、詰め替え商品を選ぶ
- ・ 長く使えるものを選ぶ

ごみそのものを減らす

ごみになるものを買わない、もらわない。ごみを出さない工夫をしましょう。

② **R**euse

再使用

- ・ マイボトル、マイ箸を使う
- ・ 修理できるものは修理して使う
- ・ 不要になってもまだ使えるものは、必要な人に譲る

大事に長く使う

大事に何度も繰り返して使う。「もの」の寿命を延ばしましょう。

③ **R**ecycle

再生利用

- ・ ごみはきちんと分別する
- ・ 資源回収に出す
- ・ 環境に配慮した商品、リサイクル商品を購入する

再び資源にする

「ごみ」も分ければ「資源」に。新たな「もの」になって戻ってきます。

平成30年度 **ごみ減量・リサイクル**
標語コンテスト **優秀作品**

分別は 家族じゃなくて ぼくがやる (福田小 鈴木友悠さん)
お母さん それもしげんだ すてないで (田原小 岩井悠真さん)